

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、持ち直している」

項 目	前回（8 年 4 月判断）	今回（8 年 7 月判断）	前回 比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）8 年 7 月判断は、前回 8 年 4 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、メリハリのある消費行動が続く中で緩やかに回復しつつある。生産活動は、電子部品・デバイスや医薬品に加え、生産用機械が改善しており、持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

【各項目の判断】

項 目	前回（8 年 4 月判断）	今回（8 年 7 月判断）	前回 比較
-----	---------------	---------------	----------

個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	持ち直しの動きに一服感がみられる	

設備投資	7 年度は増加見込みとなっている	8 年度は減少見込みとなっている	
企業収益	7 年度は増益見込みとなっている	8 年度は増益見込みとなっている	
企業の 景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	
住宅建設	下げ止まりつつある	横ばいの状況にある	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売は、百貨店では高額品に動きがみられるほか、スーパーでは飲食料品が堅調であることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。コンビニエンスストア販売は、カウンターフーズに動きがみられるものの、おにぎり等の動きが鈍いことから、前年並みとなっている。ドラッグストア販売は、飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。ホームセンター販売は、夏物商品や園芸用品が伸びていることから、堅調となっている。家電大型専門店販売は、エアコン等に動きがみられることから、持ち直している。新車販売は、持ち直している。主要観光地の入込客数は前年を上回っている。主要温泉地の宿泊客数は前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 外商を中心に高額品が売上げを伸ばしており、富裕層の動きは引き続き堅調に推移している。また、高単価の健康寝具が売れている。節約志向から、衣料品は安価な専門店へ需要が流れ、百貨店で購入する顧客が減少している。(百貨店)
- 販促日に売上げが集中する傾向がみられ、特売品への反応が強まっている。調理の手間を省ける加工食品や冷凍食品の販売数量が増加している。4月以降、ごみ袋やラップ、紙類に動きがある。(スーパー)
- カウンターフーズは値上げによる売上増加に加え、キャンペーンの効果もあり、販売数量も好調である。おにぎりは値上げ幅が大きく、物価高による買い控えの影響が顕著に表れている。(コンビニエンスストア)
- 4、5月は気温と日照時間が前年を上回ったことから、殺虫剤やUV関連商品、飲料が好調に推移した。ナフサ由来のごみ袋やラップ類が買いだめ需要もあって、好調に推移している。(ドラッグストア)
- 4、5月を通じて気温が高かった影響で、夏物商品に動きがあった。一方で、6月は天候が崩れ、園芸用品の動きが鈍かった。また、今年は例年にないほど、エアコンの販売台数が伸びている。(ホームセンター)
- 2027年4月の省エネ基準引上げを見据えた駆け込み需要により、エアコンが販売台数を伸ばしていることが、売上増加に寄与している。携帯電話は単価上昇により売上げを伸ばした。(家電大型専門店)
- 受注制限が解除された車種や新型車の投入を要因として、以前より消費者の購買マインドは回復傾向にあると感じている。4月から自動車税の環境性能割が廃止されたことから、登録時期を4月以降に後倒しにする動きがみられた。(自動車販売店)
- 今年3月に始まった「今行ける能登 団体旅行応援キャンペーン」の効果により、県内を回るツアーが増えて当地の旅館に宿泊する団体客が増加。オフシーズンの6月も例年より宿泊客が増えた。(温泉地)
- マラソンやバスツアーなど、地域に観光需要を取り込むイベントの効果で、関東や東海、関西からの訪問が前年と比べて多くなった。(温泉地)
- エリアのコンテンツをいろんな角度からSNSで若者に刺さるよう、戦略的にプロモーションを実施した結果、既存の客層に加え、若い世代の来訪も増加。(観光地)
- 欧米からの個人客のインバウンドが増加傾向で、日本文化の体験にも意欲的。国内客では被災地支援のキャンペーンを利用したバスツアーによる来訪が増えた。(観光地)
- MLB観戦ツアーやヨーロッパ方面のパックといった高額商品は燃油サーチャージの高騰にもかかわらず堅調に推移している。(旅行代理店)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

化学は、大宗を占める医薬品で、回復している。電子部品・デバイスは、スマートフォン向けや自動車向けで緩やかに持ち直しつつあるほか、AIサーバー向けで増加していることなどから、全体では持ち直しつつある。生産用機械は、半導体製造装置で増加しているほか、金属加工機械や繊維機械で持ち直しつつあることなどから、全体では持ち直しつつある。金属製品は、大宗を占めるアルミ建材で、住宅用が減少しているほか、ビル用が弱含んでいることなどから、全体では弱い動きとなっている。繊維は、衣料向けを中心に弱含んでいる。

- ジェネリック医薬品需要の高まりを背景に、一部の先発医薬品の販売終了や医薬品メーカーによる受託製造先の拡大がみられ、自社製品、受託製品ともに生産量は増加している。(化学)
- スマートフォン向けは、北米メーカーの前年モデルが引き続き好調で、例年より生産水準は高い。また、AIサーバー向けも、需要が高水準で推移しており、生産はフル稼働となっている。(電子部品・デバイス)
- 金属加工機械は、ハイブリッド車やガソリン車の需要が堅調。国内向けで大型受注があり、4、5月の受注量は前年と比べて大幅に増加している。(生産用機械)
- 繊維機械は、準備機械、紡績機械とも海外需要が旺盛で、設備を増強しながら操業度を上げている。(生産用機械)
- 住宅用は、新築需要の低迷や住宅価格高騰に伴う床面積の減少が年々進行していることから、受注量が減少している。ビル用は、改装向けではまとまった受注があったが、新築向けでは人手不足等の影響で工期が長期化し、全体では受注量が減少している。(金属製品)
- 当社の意匠にこだわったファッション向け生地は、海外高級ブランドから引き続き引き合いが強いが、近隣の織物業全体では受注が減っており、中東情勢の影響によるコスト高も打撃となっている。(繊維)

■ 雇用情勢 「持ち直しの動きに一服感がみられる」

有効求人倍率は、高水準となっているものの、緩やかに低下している。新規求人数、新規求職者数ともに前年を下回っている。雇用保険受給者実人員は前年を上回っている。

- 人手不足を打開するため外国人材の採用に踏み切ったが、コミュニケーションに課題を感じている。(小売)
- 人件費が上昇し利益が圧迫されているため、人員を増やしたいが増員に踏み切れない。(宿泊)
- テナントの人手不足が続いており、新規出店を計画していても、人員確保が間に合わず出店を見送る事例も発生している。(小売)
- 地元の高校に毎年求人を出して新卒を採用しているが、都市部への流出が進んでいて応募が年々減っている。(電子部品)
- 多くの介護施設において見守りセンサーや入浴リフトを導入するなど省人化を図り、職員の負担軽減と人手不足の解消に取り組んでいる。(公的機関)
- 年金だけでは収入に不安を感じる高齢者の求職者が増えている。(公的機関)

■ 設備投資 「8 年度は減少見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8 年 4-6 月期

- 製造業では、繊維工業などが増加となるものの、情報通信機械器具、化学工業などが減少となることから、全体では減少見込みとなっている。
- 非製造業では、情報通信などが増加となるものの、小売、金融・保険などが減少となることから、全体では減少見込みとなっている。

- DX 推進に向けたシステムの大規模更新により、増加見込み。(繊維工業)
- 前年度の新工場建設と設備導入の反動により、減少見込み。(情報通信機械器具)
- 新店計画の縮小により、減少見込み。(小売)

■ 企業収益 「8 年度は増益見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8 年 4-6 月期

- 製造業では、情報通信機械器具などが増益となるものの、窯業・土石製品、自動車・同附属品などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業では、建設などが減益となるものの、学術研究、専門・技術サービス、小売などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8 年 4-6 月期

- 企業の景況判断 BSI は、製造業、非製造業ともに「下降」超となっている。なお、先行きは、全産業では 8 年 7-9 月期、8 年 10-12 月期ともに「下降」超となる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「横ばいの状況にある」

- 新設住宅着工戸数でみると、横ばいの状況にある。

■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 前払金保証請負金額でみると、前年を上回っている。

■ 金融機関の貸出金 「前年を上回っている」

- 金融機関の貸出金は、前年を上回っている。

■ 企業倒産 「前年を上回っている」

- 件数、負債総額ともに前年を上回っている。

■ 消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合) 「前年を上回っている」

- 消費者物価指数でみると、前年を上回っている。

3. 各県の総括判断

	前回 (8 年 4 月判断)	今回 (8 年 7 月判断)	前回比較	総括判断の要点
石川県	持ち直している	持ち直している	→	個人消費は、緩やかに回復しつつあり、生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。
富山県	持ち直している	持ち直している	→	個人消費は、緩やかに回復しつつあり、生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。
福井県	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→	個人消費は、回復しつつあり、生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、持ち直している。